

自分を守る！	ビジネスにつなげる！	社会貢献をする！
--------	------------	----------

06 予備施設・バックアップ施設を確保している例 / その他の事例

1. インフラ関連事業者	2.	3.	4.
--------------	----	----	----

光ケーブルのルートの多重化による信頼性の向上	西日本電信電話株式会社 和歌山支店
事例番号 035	

■業種：情報通信業	■取組の実施地域：和歌山県
-----------	---------------

- 西日本電信電話株式会社和歌山支店では、通信設備の「ネットワークの信頼性向上」、「重要通信の確保」、「サービスの早期復旧」のため、通信ビル相互を結ぶ中継光ケーブルの重要ルートを沿岸部と山間部の多ルート化（和歌山県内ループ化）を図っている。具体的には、紀南の要となる田辺ビルの中継光ケーブルが津波及び土砂崩れで被災した場合、串本・新宮等が孤立するため、新たな迂回ルート（愛徳～中辺路間）を新設した。
- これに加え、南海トラフ巨大地震においては広域かつ甚大な被害が想定されることから、防災訓練や災害復旧演習を年に6回行うなど（平成25年）、ソフト面での対策の充実も図っている。